



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 シライ電子工業株式会社  
 コード番号 6658 URL <http://www.shiraidenshi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営企画・営業担当  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

上場取引所 東

(氏名) 小谷 峰藏  
 (氏名) 亀井 正巳

TEL 075-861-8100

配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	13,994	1.0	90		243		515	
30年3月期第2四半期	13,851	11.2	200	10.1	136		76	

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 540百万円 ( %) 30年3月期第2四半期 122百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	36.89	
30年3月期第2四半期	5.47	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	22,056	3,110	13.5
30年3月期	22,253	3,720	16.1

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 2,971百万円 30年3月期 3,587百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		5.00	5.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	1.7	400	8.7	250	51.5	50	7.4	3.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	13,976,000 株	30年3月期	13,976,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	1,413 株	30年3月期	1,382 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	13,974,614 株	30年3月期2Q	13,974,618 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成30年11月29日に機関投資家・証券アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国を中心に全体的には緩やかな景気拡大基調が継続いたしました。一方米国保護主義的政策による貿易摩擦の激化、新興国の通貨安、原油価格の高騰、地政学リスクの存在等もあり、先行きは不透明な状況であります。

わが国経済におきましては、企業収益の拡大や雇用・所得環境の改善により、引き続き緩やかな景気拡大基調を維持しておりますが、世界経済の先行き不透明感が増しており、予断を許さない状況であります。

プリント配線板業界におきましては、カーエレクトロニクス関連市場やIoT関連市場を中心に需要は旺盛であるものの、銅や原油といった原材料価格の高騰が収益を圧迫する状況が続いております。

このような状況のなか当社グループは、プリント配線板事業におきましては、販売活動では国内外においてカーエレクトロニクス関連、電子応用関連の受注が堅調に推移し売上を伸ばしました。生産活動では国内外グループを挙げて製造力の強化と品質力の向上に取り組みました。新基板の開発につきましては、透明基板のコア技術を中心とした新たな基板として、配線を目で見ることができない透明フレキシブル基板（SPET-MM）や、直ぐに暖まる車載向け透明ヒーターフィルムの販売を開始し、カーエレクトロニクス関連分野を中心に更に市場を拡大すべく取り組みました。検査機・ソリューション事業につきましては、プリント配線板外観検査機（VISPERシリーズ）は海外市場を中心に、各種ソリューションビジネス商品は取扱い製品を更に充実して国内市場を中心に販売活動を展開いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は13,994百万円となり、前年同期比では143百万円（1.0%）の増収となりました。

営業損益につきましては、売上高は増収となったものの、原材料価格の高騰等に伴い製品価格の適性化を進めてきたものの、原材料価格高騰の影響が大きく製造原価率が上昇し、また販売費及び一般管理費も増加した結果、前年同期比では291百万円減益となる90百万円の営業損失となりました。

経常損益につきましては、営業損益が減益となったことや持分法による投資利益が減少したこと、また為替差損が増加した結果、前年同期比では379百万円減益となる243百万円の経常損失となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常損益が減益となったことや税金費用の増加、また過年度法人税等を計上することになった結果、前年同期比では591百万円減益となる515百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、22,056百万円（前連結会計年度末比197百万円減）となりました。その内訳は、流動資産が11,866百万円（前連結会計年度末比393百万円減）、固定資産が10,189百万円（前連結会計年度末比196百万円増）であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産につきましては、電子記録債権が116百万円、製品が131百万円、その他が67百万円増加しましたが、現金及び預金が314百万円、受取手形及び売掛金が410百万円減少したことによるものであります。固定資産につきましては、有形固定資産が148百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、18,945百万円（前連結会計年度末比412百万円増）となりました。その内訳は、流動負債が12,978百万円（前連結会計年度末比450百万円減）、固定負債が5,967百万円（前連結会計年度末比862百万円増）であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債につきましては、電子記録債務が228百万円、1年内返済予定の長期借入金が227百万円、未払法人税等が64百万円増加しましたが、短期借入金が214百万円、支払手形及び買掛金が113百万円、その他が648百万円減少したことによるものであります。固定負債につきましては、長期借入金が908百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,110百万円（前連結会計年度末比609百万円減）となりました。主な増減要因は、利益剰余金が585百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月15日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「平成31年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ及び平成31年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,826	2,512
受取手形及び売掛金	6,177	5,767
電子記録債権	271	388
製品	1,555	1,687
仕掛品	510	545
原材料及び貯蔵品	443	424
その他	475	542
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	12,260	11,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,669	3,493
機械装置及び運搬具(純額)	2,220	2,419
その他(純額)	2,535	2,661
有形固定資産合計	8,425	8,573
無形固定資産	338	312
投資その他の資産	1,229	1,302
固定資産合計	9,993	10,189
資産合計	22,253	22,056

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,097	3,983
電子記録債務	820	1,049
短期借入金	4,196	3,981
1年内返済予定の長期借入金	2,022	2,249
未払法人税等	91	155
賞与引当金	294	299
その他	1,907	1,259
流動負債合計	13,428	12,978
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	3,675	4,583
退職給付に係る負債	619	585
資産除去債務	145	146
繰延税金負債	8	15
その他	456	436
固定負債合計	5,104	5,967
負債合計	18,533	18,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	1,506	1,506
利益剰余金	1,353	768
自己株式	△0	△0
株主資本合計	4,222	3,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	65
為替換算調整勘定	△659	△691
退職給付に係る調整累計額	△43	△39
その他の包括利益累計額合計	△635	△665
非支配株主持分	133	138
純資産合計	3,720	3,110
負債純資産合計	22,253	22,056

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	13,851	13,994
売上原価	11,738	12,069
売上総利益	2,113	1,925
販売費及び一般管理費	1,912	2,016
営業利益又は営業損失(△)	200	△90
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	69	34
その他	12	32
営業外収益合計	86	70
営業外費用		
支払利息	104	119
為替差損	36	96
その他	10	7
営業外費用合計	150	223
経常利益又は経常損失(△)	136	△243
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産廃棄損	30	26
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	30	27
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	105	△268
法人税、住民税及び事業税	53	115
過年度法人税等	—	112
法人税等調整額	△37	11
法人税等合計	16	239
四半期純利益又は四半期純損失(△)	89	△508
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	76	△515
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	7
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	△2
為替換算調整勘定	19	△70
退職給付に係る調整額	4	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	36
その他の包括利益合計	33	△31
四半期包括利益	122	△540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109	△545
非支配株主に係る四半期包括利益	13	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。